

日本医史学会関西支部 2022年 秋季学術集会

共催／京都医学史研究会・岡山医学史研究会

日時 令和4年12月4日(日)

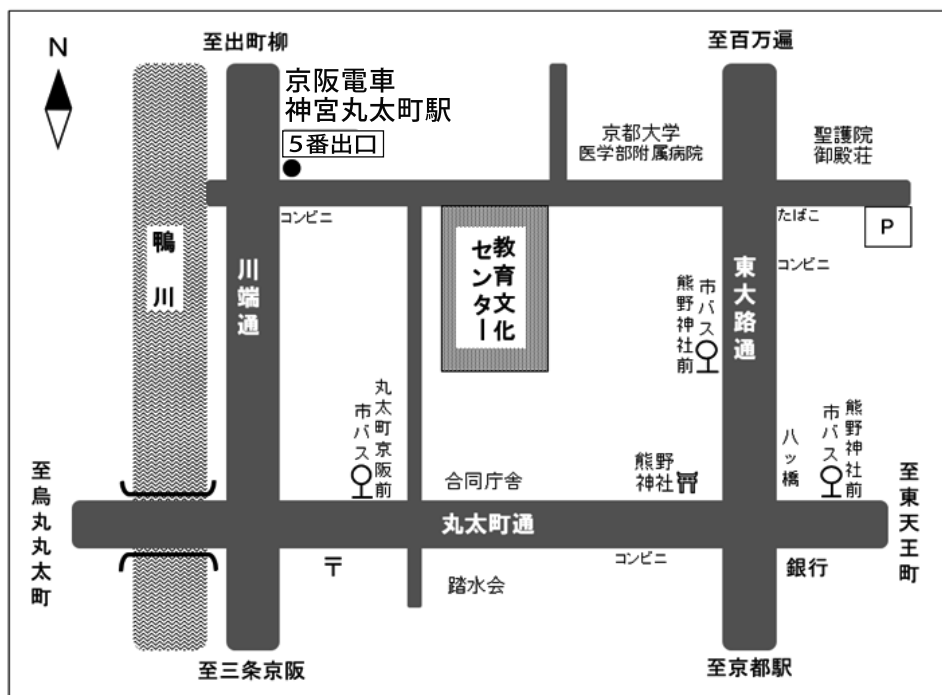
受付 午前8時45分 開演：午前9時

会場 京都教育文化センター 301号室

〒606-8397 京都市左京区聖護院川原町4-1-3

☎ 075-771-4221

参加費 2,000円 学生・院生 無料



プログラム (敬称略)

9時00分 《一般演題》 — 座長 — 今井 秀

1. 日本における打膿の展開 — 経過報告 谷田保啓 (名古屋市)
2. 「宋代医家竇漢卿は2人いた」仮説の証明 高橋正子 (名古屋市)
3. 文化五年の解剖記録について 西嶋佑太郎 (京都市)
4. 野口英世 細菌学者の生涯 葉山美知子 (京都市)

10時04分 — 座長 — 田中祐尾

5. 享保の飢饉と救荒作物甘薯について
～ 作物奉行深見有隣と青木昆陽の功績 今井 秀 (豊中市)
6. 研医会図書館所蔵二十四冊本『黄帝内経太素』について
安部郁子 (川崎市)
7. 小森桃塙の『泰西方鑑』と藤林晋山の『西医方選』の
引用蘭書を解析して分かったこと 相川忠臣 (長崎市)
8. 我が国における初期の医学書の出版 松岡尚則 (高知市)

11時08分 関西支部総会

支部長挨拶 猪飼祥夫
事務長報告・伝達 田中祐尾

————— 昼休み —————



13時00分 《特別講演》 — 座長 — 猪飼祥夫（支部長）

医のある風景

～『大塚薬方』20 数回連載中から～

演者 岡山医学史研究会代表 石田純郎

14時10分 — 座長 — 島山奈緒子

9. 京都療病院医師ヨンケル『瑞穂草』について 八木聖弥（京都市）
10. 林 一鳥『腫病応用之論』について
池内早紀子（堺市） 山本優紀子（長崎市）
11. 宇佐美主善『傷寒瘟疫病心得草』（文政10年）にみる看病人の心得
平尾真智子（都留市）

14時58分 — 座長 — 三鬼丈知

12. 『僧尼孽海』成立小攷 永塚憲治（函館市）
13. 「疖」と「癩」について
島山奈緒子（京都市） 池内早紀子（堺市） 山本優紀子（長崎市）
14. 英国二十世紀中葉の周縁の医師たちについて 香戸美智子（高石市）
15. 海昏侯竹簡の七損八益 猪飼祥夫（京都市）

16時02分 閉会の辞 猪飼祥夫

《紙上発表》

1. スウェーデンにおける発達障害児支援組織Brygganとその評価
小野尚香（豊中市） 駒松仁子（国立看護大）
2. 森鼻宗次『皮下注射用略』（明治六年）とその後の展開
田中祐尾（八尾市）
3. 金丹と陰丹と白い粉 三鬼丈知（大阪市）
4. 『秋山記行』にみる医療事情 西巻明彦（東京都）

《注意事項》

- ▼ 演者の持ち時間は口演15分/質疑1分の計16分です。
座長は終了1分前にアラームをかけ、タイムアップ後は質疑応答などフロアで続行してください。
- ▼ 遠方の演者など当日順番差し替えの場合あり。ご了承ください。
- ▼ 発表者は当日抄録を必ず提出してください。内容の変更は自由です。
次々号『醫譚』に掲載します。概ね2頁2,600字以内でお出してください。
抄録とは別に絵図など多い人には『醫譚』への完全投稿を期待します。
この場合『醫譚』 「投稿規定」をお読み下さい。
- ▼ 発表はパワーポイントに限ります。当日データを受付へ。
紙資料の配布は40部、原則当日持参ですが、困難なら予めご相談ください。
- ▼ 『醫譚』の1938年創刊以降のバックナンバーUSBの頒布を受付で行います。
3,000円です。
- ▼ 施設内で食事は出来ませんので、皆様外食となります。
懇親会はありません。

＜連絡先＞

○ 日本医史学会関西支部事務局

〒581-0003 大阪府八尾市本町5-1-7 田中医院内

FAX 072-993-1237 事務局長携帯 090-5669-8213

E-mail sachio-tanaka@umin.ac.jp

＜お願い＞

会員名簿整備のため 氏名・住所・所属・電話番号・E-mailアドレスを事務局 (**sachio-tanaka@umin.ac.jp**) までお送り下さい。

E-mailアドレスが不明な方が多数おられますのでご協力お願いします。

また、新規会員のご紹介等よろしくお願いいいたします。

《MEMO》